

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2018年12月26日

事業所名：西宮市立北山学園

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準に沿っています	はい96% どちらもいえない4% 活動スペースや部屋数を増やしてほしい	安全で利用しやすいように活動スペースを確保します
	2 職員の適切な配置	適切に配置しています	はい75% どちらもいえない21% わからない4% もう少し増やしてほしい	基準に沿った職員の配置を維持します
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	一日の予定は各保育室に視覚的にわかるようにしています バリアフリーはできていません	はい75% どちらもいえない21% わからない4% 構造はわかりやすい 階段しかないのでバリアフリー化はされていない 建物が古く段差が多いため災害時の耐久性が心配	建物については定期的に点検を行い、安全に利用できるようにします
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃は毎日行っています おもちゃなどをわかりやすく棚に置いています	はい86% どちらもいえない10% わからない4% たまに埃やごみが落ちている	保育室の清掃・玩具の整理整頓をします
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月、各グループで担任会議を行い、振り返りと今後の支援方法を確認しています 全職員対象の会議を毎月行っています	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	西宮市児童通所支援連絡会の他の事業所より評価を受けました	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	施設内学習会、外部研修に参加しています 同様の施設の見学と保育参加、意見交換を行っています	/	
適	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者からアセスメントを行い、その後の個別懇談で、目標、具体的な支援方法を確認しています		個別の毎月の様子を伝え、課題を明確にします

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
切 な 支 援 の 提 供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの年齢等を考慮したグループと課題別のチームを作り活動しています	はい84% どちらともいえない12% わからない3% 今のとりくみで力を入れていることや学園でやっていることをもっと知りたい	取り組み内容を連絡ノートや毎月の様子で伝えます
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	生活習慣、ことば、あそび、社会性に分けて具体的な支援方法を記入しています		
適 切 な 支 援 の 提 供 t (続 き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に沿った支援を行い、毎月の子どもの様子を保護者に伝えています 毎月の担任会議で振り返りを行っています	はい83% どちらともいえない14% わからない3%	子どもの成長を見通して支援方法を検討します
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各グループの担任が作成し、全体で検討、確認しています		子どもの発達の課題に沿い、また、関心を持つようなプログラムを立案します
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日、長期休暇に対応した支援は行っていません		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの状況に応じて内容を決めています 季節に応じた内容を取り入れています	はい90% どちらともいえない3% わからない7%	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	子どもの登園前に打合せを行っています		その日に保育に入る職員同士で打ち合わせを行うようにします
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	子どもの降園後に担任が振り返りを行っています		パート職員を含めた振り返りの方法と時間の確保を検討します	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の個別の記録を記入しています 支援の検証は、その日ごと、毎月の担任会議で行っています		保育についてはグループごとの検討会を継続して行い、他のグループの職員からの意見を取り入れます
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年に3回、保護者と個別面談を行い、見直しを行っています		保護者からのアンケートをもとに、個別懇談を行い、個別支援計画の見直しを行います
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	担任の保育士、あるいは児童発達支援管理責任者が参加しています		担当者会議後の報告を行い、情報を共有します
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	主治医による緊急時の対応の指示をもとに支援しています		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	主治医と、緊急時の対応を確認しています		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	移行時の支援会議には幼稚園、小学校、特別支援学校との情報共有、情報交換しています		小学校、幼稚園と、普段から、連携を取り移行がスムーズにできるようにします
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	該当しない		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センター間で研修、情報共有しています		療育、虐待防止などの研修に順次参加します

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	年長児は保育園の年長児と概ね月に1回交流しています	はい69% どちらともいえない21% いいえ3% わからない7% 年長児の交流の回数を増やしてほしい 年中児も交流してほしい	年長児の交流保育を継続し、交流内容の検討をします
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	公開講座の案内をしています		
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担については契約時に説明しています 支援の内容は、個別支援計画作成時と変更時に説明しています	はい90% どちらともいえない7% わからない3%	契約時と負担額が変更になる場合に行います
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	年に3回の個別懇談時に説明しています	はい90% どちらともいえない7% わからない3%	継続して丁寧な説明を心がけます
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者学習会、療育相談、課題への対応についての相談、アドバイスをを行っています	はい76% どちらともいえない18% わからない6% 土曜日に学習会をしてほしい	学習会の内容の充実とあり方を検討します ペアレントトレーニング導入に向けて検討します
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートに記入しています 支援の変更などはその都度、提案し、相談し了承を得るようにしています	はい86% どちらともいえない14%	連絡ノートや電話連絡で一緒に考えていきます
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談には、随時、担任、専門職が対応しています	はい97% どちらともいえない3% もっと機会を増やしてほしい	定期的な懇談等と保護者の要望に応じて懇談を行います
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	会議室の提供をしています 保護者会からの要望について職員間で検討し、改善に向けて取り組んでいます	はい90% どちらともいえない10%	保護者同士のつながりができるよう協力します
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情受付と苦情解決委員の配置を重要事項説明書に明記し、園内に掲示しています 苦情を受けた場合は、早急に事実を確認し対応するようにしています	はい76% どちらともいえない10% わからない14% 保護者からの要望に対しては、職員間の報告・連絡・相談が不十分と感ずることがある	保護者からの要望などについては、朝礼、会議等で共有し対応を検討します 日誌に記入し、確認できるようにします

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもには視覚支援を行っています 保護者には状況に合わせて、電話、メール、個別対応のノートを利用しています	はい93% どちらともいえない7%	個別の対応が必要な場合は、状況に合わせて対応します
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	園便りを毎月発行し、翌月の予定、連絡をしています 情報提供は随時、文書で配布しています	はい83% どちらともいえない14% わからない3% ホームページは少ないと思う	行事や日々の様子をホームページで伝えます
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個別のファイルは職員室の棚に保管し、鍵をかけています 保護者に個人情報の取り扱いについての承諾書を頂いています	86% どちらともいえない7% いいえ3% わからない3%	個人情報の扱いについて、常に注意をします
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し、職員に周知しています 保護者には、バス送迎時の災害時の対応などを配布しています	はい100%	マニュアルを定期的に見直し、周知します
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	火災、地震を想定した避難訓練を定期的に行っています	はい100%	火災、地震、バス送迎中の地震発生を想定して避難訓練を行います
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修に参加し、その職員が報告会を行っています		県主催の研修及びその他の研修に参加し、報告会を行います
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う際には、職員間で確認し、保護者に了承を得ています 個別支援計画への記載をしています		全職員会議で必要性を確認して、保護者の了承を得てから行います
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	入園時にアレルギーの有無を確認しています ガイドラインに沿って対応しています		ガイドラインに沿って対応します 適切に行われているか検証します
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットは朝礼で報告し、日誌に記入しています		継続して注意を促し、事故防止に努めます

